

生物科学学会連合 第5回連絡会議記録

日 時： 2000年12月12日(火) 午後1時30分～4時

場 所： 学士会分館(東京・本郷)

出席者： 駒嶺 穆(世話役, 日本植物学会)

平野 寛(日本解剖学会)

黒岩 常祥(日本細胞生物学会)

邑田 仁(日本植物学会)

福田 裕穂(日本植物生理学会)

長谷川政美(日本進化学会)

野村 正彦(日本神経化学会)

貴邑富久子(日本神経科学学会)

正木 春彦(日本生化学会)

嶋田 正和(日本生態学会)

片山 舒康(日本生物教育学会)

木下 一彦(日本生物物理学会)

本郷 利憲(日本生理学会)

上村 慎治(日本動物学会)

星 元紀(日本動物学会)

井出 宏之(日本発生生物学会)

黒川 信(日本比較生理生化学会)

山本 和俊(日本比較内分泌学会)

斎藤 隆(日本免疫学会)

三品 昌美(日本薬理学会)

(欠席) 日本遺伝学会

日本分子生物学会

(敬称略, 学会名五十音順)

- 配布資料：
1. 連絡者名簿(2000.12.12)
 2. 第4回連絡会議記録(案)
 3. 要望書—科学研究費による高等科学教育研究の推進について
 4. 科学技術基本計画(案)に対する意見
 5. 科研費の研究成果公開発表費について
 6. 科研費審査システム改革に関する提案
 7. JABEE についての Q&A
 8. 公務員試験「生物」合格者の採用状況
 9. 日本生化学会理科教育アンケートの結果について
 10. 鳥獣保護事業計画の基準
 11. 科学技術基本計画(案)に対する意見(案)

議事に先立ち, 世話役の日本植物学会・駒嶺会長から挨拶と新入学会(日本進化学会, 日本比較生理生化学会, 日本薬理学会, 日本比較内分泌学会)の紹介があった。

議事要旨：

1. 前回記録の確認

2. 教育問題

- 1) 科学研究費による高等科学教育研究の推進について(資料3)の要望書の趣旨説明があり, 連合名で署名するに際し, 各学会で検討のうえ, 賛同できるかどうかの結果を2001年1月15日までに事務局に連絡することとした。
- 2) JABEE(資料7)の機構について説明があった。日本物理学会, 応用物理学会, 日本化学会がすでにJABEEに加盟しており, 医・薬学系のような国家認定資格のない生物系の場合, 非加盟が不利に働く可能性が今後ないとは言えないのではと発言があった。各学会で継続審議することとした。
- 3) 生化学会の行った理科教育アンケートの結果(資料9)について, 高校の理科教育復興を

望む声の大きくなっている回答状況などが報告された。生化学会と理数系教育問題連絡会とで連絡をとりあってはどうか、学習指導要領の改定に際しては逆に各学会の思惑が噴出する可能性もあるなどの意見が交わされた。

3. 実験動物の規制のその後の動き（資料 10）について説明があった。対象としては、従来実験動物として一部利用されていた捕獲された野生サルの取扱いが最も注目されている、規制は環境庁の所轄事項であるが、環境庁のみならずより広範な場から議論されることが望まれるなど発言があった。
4. 基礎研究費改善要求については、前回連絡会議において要望書をまとめることになっていたが、科技庁から意見が問われている「平成 13～17 年度科学技術基本計画案」に反応することが緊急の課題との立場から、これに対する意見の原案（資料 4）が示された。意見書提出締切が 12 月 13 日と迫っているので、13 日中に賛意の示せる学会のみの連名で当面提出することとした。参考資料として日本学術会議学術体制常置委員会研究環境の改善分科会がとりまとめた意見書案（資料 11）が星動物学会会長より提出された。
5. 公務員採用について 12 月 5 日現在の採用状況（資料 8）が報告された。今は公務員を減らそうと逆風の吹いている時であり採用枠拡大は困難である、生命系の区分に農学は含まれない（別の系になっている）、Ⅱ種には物理、化学の区分あるも生物はないなどの発言があった。
6. 新規加盟学会の勧誘については、菌学会からは未回答であることが報告された。新たな候補学会がある時は事務局にその旨連絡することとした。
7. 細胞生物学会から提案のあった、科研費の研究成果公開促進費と大学院生の学会発表時の旅費に関する要望書（資料 5）については、連合名で提出することとなり、細胞生物学会で要望書の書式にまとめたうえで、各学会で検討することとなった。
8. 動物学会からの科研費審査システムに関する提案書（資料 6）では、将来、日本の科学研究を先導しうるサイエンスコーディネーター（SC）の職種新設を提案しているが、これに対し SC 構想は非現実的で調査官制度で十分とする意見もあった。各学会で審議し、動物学会に対し意見を寄せてもらうこととした。
9. 次期世話役は日本生化学会、副世話役は日本細胞生物学会にお願いすることとした。
10. その他： 遅れていた年会費の請求書がようやく発送されたのでご協力をお願いしたい。議案も多くなりつつあることから、今後は年 2 回程度の開催を目指す。次回連絡会議は、準備を植物学会で、開催を生化学会の呼掛けで行うこととしたい。

以上